

## ～ 富山市に新名所誕生！ ～

### 富山運輸支局

公共交通の活性化に熱心に取り組んでいる富山県の中でも、特に富山市は公共交通を軸としたコンパクトシティ構想を積極的に推進しているところです。その富山市に12月23日、新たな名所が誕生しました。

市内の路面電車線の一部が環状化され、富山ライトレールと同じヨーロッパスタイルの超低床式車両による運行が開始されました。市内電車の環状化は、公共交通の活性化、中心市街地の活性化及び富山駅の南北接続後の路面電車ネットワークの形成などを目指して行われている事業の一部であるとのことですが、今までのややレトロな路面電車に新型のLRVが走る風景は一見の価値はあるように思います。

車両の色は、白（富山の自然）、灰（未来）、黒（歴史）と富山の自然にとけ込んだ三色です。



それでは、市内電車環状線の周辺を少しご案内したいと思います。環状線は富山市内約3.4kmを約20分間で時計と反対回りに一周し、料金は定額で大人200円となっています。（子供100円）

富山駅前を出発して、県庁前、桜の名所の松川を渡り、城址公園へと参ります、丸の内の電停から先は新しく作られた軌道です。中心市街地、総曲輪（そうがわ）周辺から西町へ向かいます。周辺には国際会議場、ANAクラウンズホテル、大和デパートなどがあり、休日などは比較的買い物客などが多いところです。また、このあたりには、落語家立川志の輔が作った寄席「てるてる亭」もあります。西町からは従来の軌道に戻ります。お酒を飲むなら桜橋で下車してください。

今後、事業の運営方法も含め、全国の注目の的となるものと思われまので、是非一度と言わず何度でも富山においていただいた時にご乗車ください。（富山にこられ！）

